

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 3 月 28 日(2022.3.28)

【公開番号】特開 2021-108880(P2021-108880A)  
 【公開日】令和 3 年 8 月 2 日(2021.8.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-034  
 【出願番号】特願 2020-1930(P2020-1930)  
 【国際特許分類】  
     A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【F I】  
     A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和 4 年 3 月 17 日(2022.3.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

20

複数の演出態様が実施可能な演出手段において、  
前記演出手段は、  
第 1 の可動体と第 2 の可動体とを備え、  
前記第 1 の可動体が第 1 の位置と第 2 の位置との間にある状態では前記第 1 の可動体が  
作動可能かつ前記第 2 の可動体が作動不能に設定可能とされ、  
前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置、および前記第 2 の位置のうち、少なくとも一方の  
位置において前記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体が作動可能であり、  
前記第 2 の可動体の作動を制御する作動制御手段を備え、  
前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置にある状態で、前記第 1 の可動体が作動可能かつ前  
記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動可能とするこ  
とで第 1 の演出態様を実施可能にし、  
前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置までの間にある状態で、前記第  
1 の可動体が作動可能かつ前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動不能とすることで  
第 2 の演出態様を実施可能とし、  
前記第 1 の可動体が前記第 2 の位置にある状態で、前記第 1 の可動体が作動可能かつ前  
記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動可能とするこ  
とで第 3 の演出態様を実施可能にし、  
前記第 1 の可動体の表側部の裏側に発光源を有しており、前記第 1 の位置から前記第 2  
の位置に移動するに際して前記表側部と前記発光源との距離が変化し、  
前記第 2 の可動体は、  
前記第 1 の可動体を正面視した状態で前記第 1 の可動体の後方側に位置することを特徴  
とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 3】

50

特許文献 1 には、回転動作を行うことで所定の可動演出を行う可動演出役物を備えた遊技機が開示されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献 1】特開 2016 - 59498 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機において、遊技の興趣をさらに向上させることが望まれている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、複数の演出態様が実施可能な演出手段において、前記演出手段は、第 1 の可動体と第 2 の可動体とを備え、前記第 1 の可動体が第 1 の位置と第 2 の位置との間にある状態では前記第 1 の可動体が作動可能かつ前記第 2 の可動体が作動不能に設定可能とされ、前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置、および前記第 2 の位置のうち、少なくとも一方の位置において前記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体が作動可能であり、前記第 2 の可動体の作動を制御する作動制御手段を備え、前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置にある状態で、前記第 1 の可動体が作動可能かつ前記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動可能とすることで第 1 の演出態様を実施可能にし、前記第 1 の可動体が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置までの間にある状態で、前記第 1 の可動体が作動可能かつ前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動不能とすることで第 2 の演出態様を実施可能とし、前記第 1 の可動体が前記第 2 の位置にある状態で、前記第 1 の可動体が作動可能かつ前記第 1 の可動体の作動に伴って前記第 2 の可動体を前記作動制御手段が作動可能とすることで第 3 の演出態様を実施可能にし、前記第 1 の可動体の表側部の裏側に発光源を有しており、前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に移動するに際して前記表側部と前記発光源との距離が変化し、前記第 2 の可動体は、前記第 1 の可動体を正面視した状態で前記第 1 の可動体の後方側に位置することを特徴としている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、演出態様を多彩にし、遊技の興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50